

川俣駅第1期買収が終了！

川俣駅は、東武鉄道㈱が28年1月末の供用開始を目指しており、町もそのスケジュールに合わせようと急ピッチで作業を進めています。

この事業は、川俣駅を群馬県の玄関口として位置づけ、国、県、東武鉄道㈱、町が一致協力した一大事業となっています。

西口は県道沿いであるため、群馬県にお願いして予算を確保してもらい、国の補助金と合わせて群馬県において駅前ロータリーと県道を整備しています。

東口は、町が国の補助金と東武鉄道㈱の負担金をもらって、駅前ロータリーと町道、駅本体を整備しています。

第1期工事は、駅の橋上化と東西通路（住民の皆様が東西出入口から自由に往来できる通路）、東西ロータリーの建設ですが、駅舎及びロータリーを造る土地について、ようやく買収が完了いたしました。

平成18年度から恩田前町長肝いりで、川俣駅整備調整協議会並びに駅前地区ワーキング部会で計画を作り始め、現在までに9年の歳月を有しました。

そして、今後必要な（駅東西ロータリーへのアクセス道整備）など、完全な形までにはもう数年かかりますが、これで線路東の方々も踏切を渡らなくても東口からエレベーターで乗車できるようになります。

また、国交省からの補助金もなんとか確保されました。土地とお金の条件が整い、いよいよ川俣駅が完成へと向かいます。明和町が大きく変わる夢の実現へ協力いただきました地権者をはじめとする皆様方に、感謝！感謝！であります。本当にありがとうございました。

今後とも、町の事業に深いご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成27年7月13日

富塚もとすけ